

2021年度 TOEIC® Program 総受験者数は約 230 万人

日本で TOEIC® Program を実施・運営する国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）（所在地：東京都千代田区永田町、理事長：大橋圭造）は、2021年度の受験者数について発表いたします。TOEIC® Program の総受験者数は約 230 万人となりました。企業・団体・学校などの実施団体数は TOEIC® Program 全体で約 3,000（前年度は約 2,900）となりました。

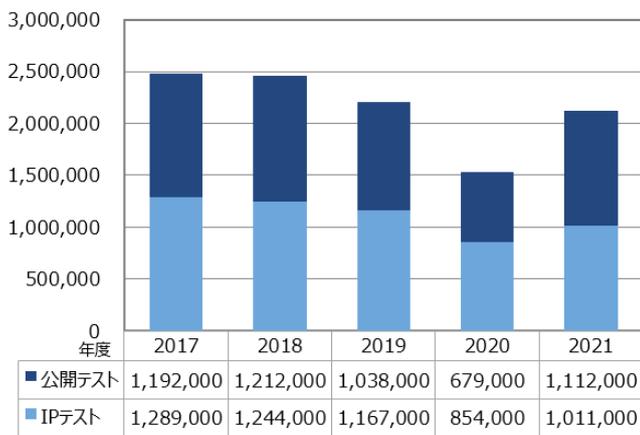
| TOEIC® Listening & Reading Test | TOEIC® Speaking & Writing Tests | TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests | TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests | TOEIC® Program 総受験者数 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|--|-------------------------|
| 2,123,000 人 | 34,900人 | 140,700人 | 3,300人 | 2,301,900人 |

※TOEIC® Listening & Reading Test は 100 の位を、TOEIC® Speaking & Writing Tests・TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests・TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests は、10 の位を四捨五入しています。

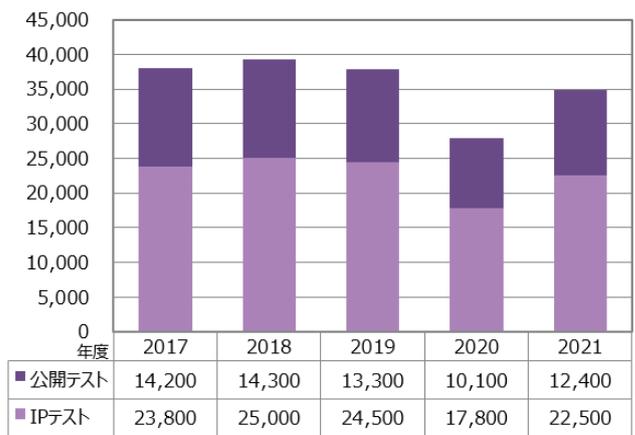
<新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大に伴う影響>

TOEIC® Listening & Reading Test は、受験者数を一定数に制限するための定員制を導入しています。

TOEIC® Listening & Reading Test
受験者数推移



TOEIC® Speaking & Writing Tests
受験者数推移



TOEIC® Listening & Reading Test は、英語で聞く・読む能力を測定するテストです。Listening Section（約 45 分間・100 問）、Reading Section（75 分間・100 問）、合計約 2 時間で 200 問に答えるマークシート方式の一斉客観テストです。IP テストは、約 1 時間のオンラインテストも実施しています。

TOEIC® Speaking & Writing Tests は、英語で話す・書く能力を測定するテストです。TOEIC® Speaking Test（約 20 分間・11 問）、TOEIC® Writing Test（約 60 分間・8 問）で構成されています。受験者はヘッドセットを装着し、パソコン画面の指示に従って音声を入力したり、文章を入力して解答します。

公開テスト：個人が直接申し込みをし、当協会の管理下で実施する受験制度

団体特別受験制度(IP テスト)：企業・大学などの団体が、所属団体内の所属社員・学生を対象に随時実施する受験制度

本リリースに関するお問い合わせ先

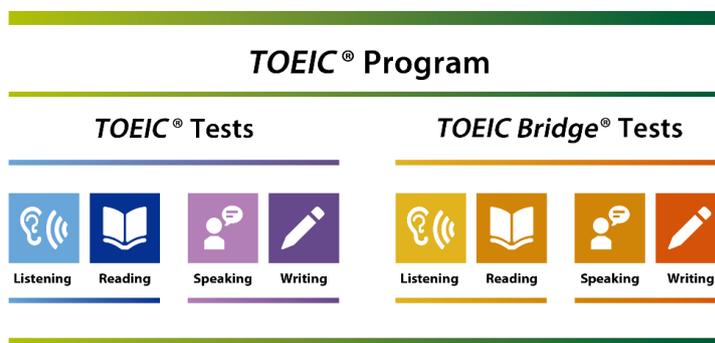
広報事務局（株式会社カーツメディアワークス） 担当：石黒・田口・大木 Tel：03-6427-1627 Mail：iibc@kartz.co.jp

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）

広報・法務チーム 担当：志摩・松田 Tel：03-3581-4761 Mail：pr@iibc-global.org 公式サイト：<https://www.iibc-global.org>

TOEIC® Program

TOEIC® Listening & Reading Test、TOEIC® Speaking & Writing Tests、TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests、TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests の総称。4つのテストを合わせた TOEIC® Program は世界 160 カ国、14,000 団体で実施されている。



TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で聞く・読む能力”を測定するテスト。テスト結果は10点から990点までのスコアで評価され、その評価の基準は常に一定に保たれる。スコアによる評価や英語能力を正確に測定できる質の高さが評価され、企業・団体においては昇進・昇格の要件として、また、社員の採用の際などに参考にされている。学校においても入試や単位認定などで広く活用されている。2021年度の日本における受験者数は約212万人。

2020年4月より、企業・学校・団体で実施される団体特別受験制度（IPテスト）において、オンライン方式のテストを導入、約1時間での実施が可能となる。公開テストは従来のマークシート方式（2時間）のテストを実施。

TOEIC® Speaking & Writing Tests (TOEIC® S&W)

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で話す・書く能力”を測定するテスト。テスト開発機関であるETSの認定を受けた複数の採点者が公平に採点し、可否ではなく、0点から200点までのスコアで評価する。また、発音・イントネーション/アクセントについても3段階で評価を知ることができる。TOEIC Listening & Reading Testと同様、日常生活やビジネスの場面が採用されているが、特殊なビジネス英語や特定の業界・分野の知識を必要としたり、特定の国の歴史や文化に関連する固有の事象がわからなければ解答できない問題などは含まれていない。2021年度の日本における受験者数は約3万5千人。

TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests (TOEIC Bridge® L&R)

英語学習初級者から中級者を対象として、日常生活における活きたコミュニケーションに必要な“英語で聞く・読む能力”を測定するテスト。TOEIC Listening & Reading Test への架け橋という意味を含めて、基礎的なコミュニケーション英語能力を評価する世界共通のテストとして開発され、2001年より TOEIC Bridge Test として開始。2019年6月より、TOEIC Bridge Listening & Reading Test としてアップデート。スコア表示による評価方法や、評価の基準が常に一定に保たれる点など、TOEIC Listening & Reading Test の特長を備えつつ、初・中級レベルの英語能力測定に照準を合わせて設計されたテスト。2021年度の日本における受験者数は約14万人。

TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests (TOEIC Bridge® S&W)

英語学習初級者から中級者を対象として、日常生活における活きたコミュニケーションに必要な“英語で話す・書く能力”を測定するテスト。ETSが新たに開発をし、日本では2019年6月より開始。テスト会場にてパソコンを使用して実施する。TOEIC Bridge Listening & Reading Tests と同じく、30点～100点のスコアで評価する。スコアは1点刻み。2021年度の日本における受験者数は約3千3百人。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC: The Institute for International Business Communication)

「人と企業の国際化の推進」を基本理念とし、1986年に設立。

「グローバルビジネスにおける円滑なコミュニケーションの促進」をミッションとし、国内外の関係機関と連携しながら TOEIC Program およびグローバル人材育成プログラムを展開している。